

ペンタイプ皮膚マーカー (ESFORM) の使用経験

○小川 知克 中嶋 剛 塩沢 努 渋市 直紀



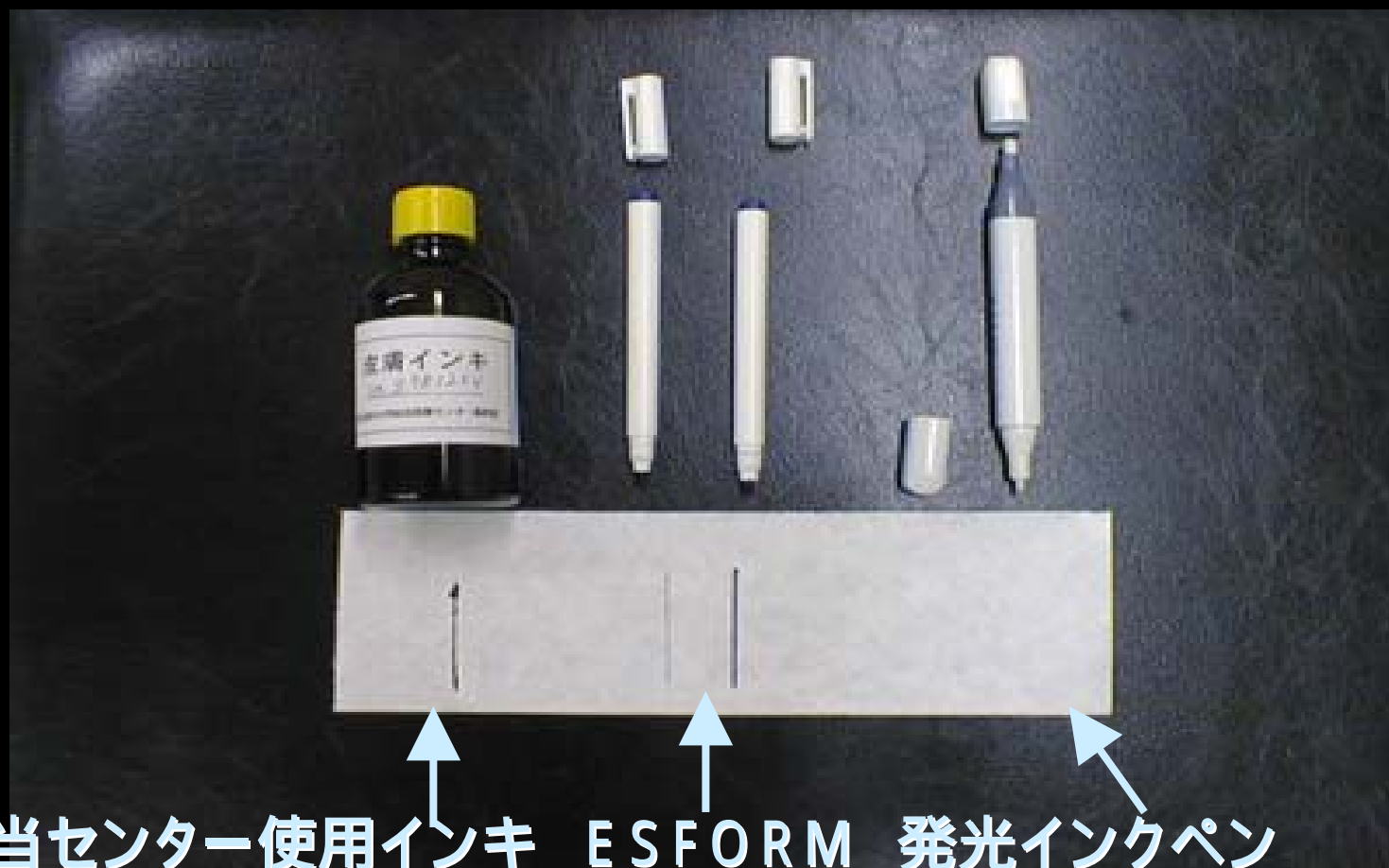
目 的

現在、様々な放射線治療用の皮膚マーカが製造販売されている。

今回、1998年11月に新発売された「ESFORM」の使用機会を得たので、患者さんからの評価を含め当センター薬剤部で処方し使用している「皮膚マーク用インキ」と比較したので報告をする。



使用皮膚マーカー各種



マーク用インク 処方内容

皮膚インキ

レゾルシン	36.0g
塩基性フクシン	6.4g
塩基性フェノール	19.2g
アセトン	27.2g
エタノール	52.0ml

蒸留水を加え

全量 500ml

大山氏液

硝酸銀	7g
無水エタノール	20ml
蒸留水	20ml
エーテル	5ml
ケンチアナバイオレット	3ml

全量 50ml



比較方法

1. 各種マーカ―を臨床(頸部、胸腹部)に使用
再マーキング間隔日数の記録評価
視覚的にマーク部位の観察

2. 各種マーカ―にて塗布後の洗淨試験

試験対象:職員ボランティア

塗布部位:上肢(前腕、上腕部)

方 法:経過時間別(塗布直後、30分、

1時、3時間後)に市販石鹼と

ハイポアルコールにて洗淨



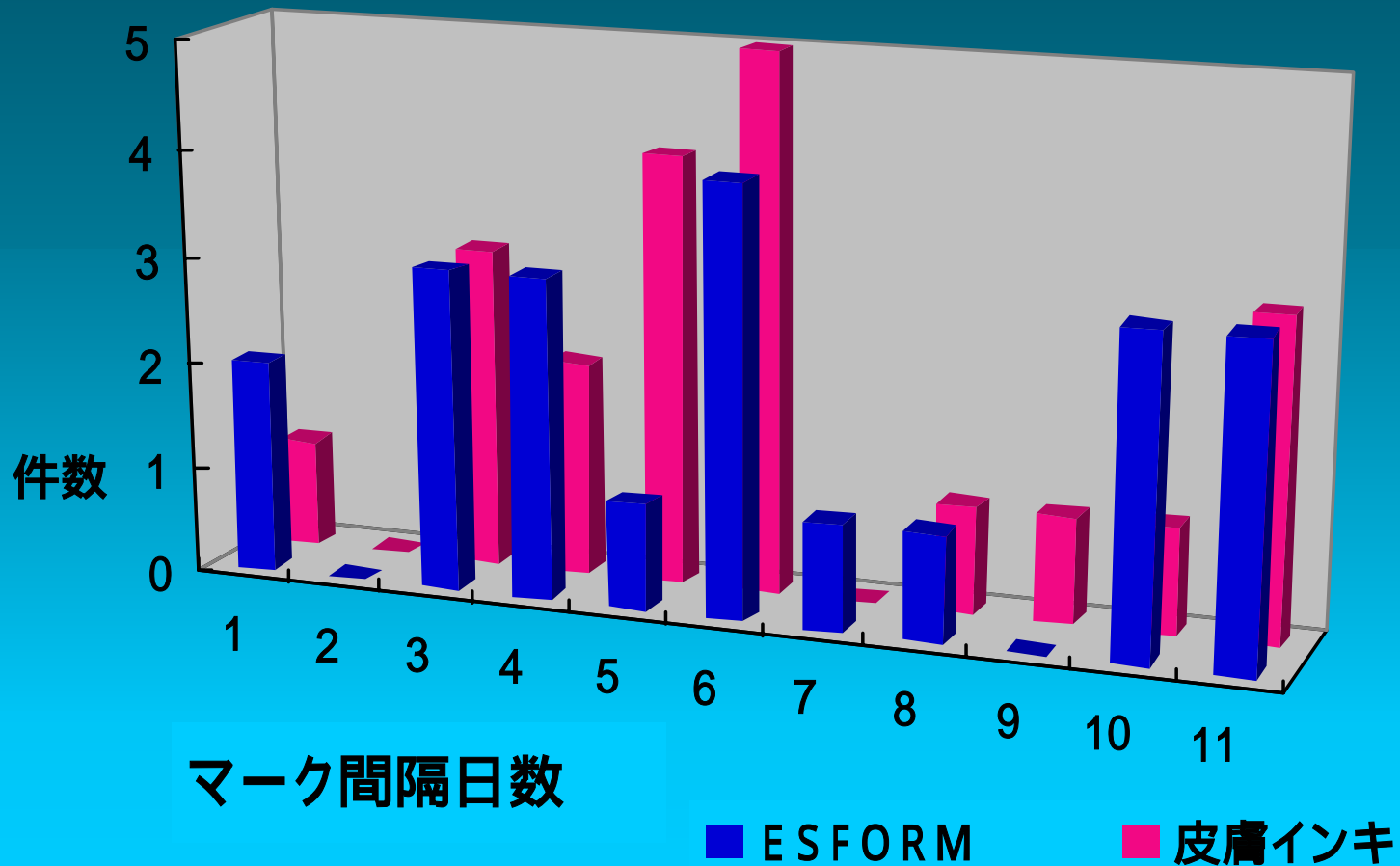
ESFORMでの頸部マーク



マーキングに定規使用



マーキング記録結果



洗淨試験 結果



塗布直後



直後洗淨(上腕:ハイポ 前腕:石鹸)



まとめ

- 「ESFORM」は、
にじみの少ない良好なインクペンであった。
- 頸部のマーキングに有効であった。
- 皮膚反応に注意が必要。
- 当センターでは、皮膚インクと相補使用が、
有効であった。



マーキング記録

日数			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30								
インクの種類	治療部位	症例																																						
発光インクペンのみ	頸部	患者1																	終了																					
	顔面	患者2																	終了																					
			発光インクペンでマーキング																																					
ESFORM & 皮膚インキ 両方使用	乳腺	患者3																		終了																				
		患者4																		終了																				
		患者5																																						
	頸部	患者6																																						
		患者7																		終了																				
	腹部	患者8																		終了																				
		患者9																																						
				ESFORMでマーキング										皮膚インキでマーキング																										
	ESFORMのみ	頸部	患者10									終了																												
患者11																																								
患者12																				終了																				

